

# 珍しい交響曲 イタリア Minor Symphonies Italy

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レベル
Ridolfo Luigi Boccherini	ボッケリーニ	1743-1805		交響曲二短調((1771)	☆☆☆☆	3楽章で22分。この時代の曲にしては強い短調のムードが表されています。		CHAN 8414／5	CHANDOS
Muzio Clementi	クレメンティ	1752-1835	9	交響曲第1番(1821)	※※	ピアノためのソナチネで有名な作曲家です。交響曲が何曲あるかは不確かで、演奏できる形で楽譜が残っているのが4曲です。速い第4楽章は聞き映えがします。	LPです。 ERX2455	ERATO	
				交響曲第2番(1819)	☆☆☆☆	速い第1, 4楽章は聞き映えがします。			
				交響曲第3番(1823)	☆☆☆☆	第2楽章はイギリス国歌による変奏曲です。	LPです。 ERX2448	ERATO	
				交響曲第4番(1823)	☆☆☆☆	大変聞き映えがします。			
Giovanni Sganbati	ズガンバーティー	1841-1914	2	交響曲第1番(1881)	※※	5楽章で39分。イタリアらしく明るく気軽な感じです。時折メンデルスゾーンのような雰囲気も出てきます。	555 195-2	cpo	
				交響曲第2番(1885)	☆☆☆☆	4楽章で41分。第1番よりは重い感じです。第4楽章は聞き映えがします。			
Giuseppe Martucci	マルトウッチ	1856-1909	2	交響曲第1番(1895)	※※	4つの楽章で40分。第4楽章では金管がはでに活躍します。	8.570929	NAXOS	
Alberto Franchetti	フランケッティ	1860-1942	1	交響曲(1884)	☆☆☆☆	4楽章で30分。イタリア人ですが、ドイツの音楽院で学び、卒業作品がこの交響曲。第1、4楽章はとても新鮮な感じがします。交響曲は1曲だけで、以後はオペラ界で活動。	8574271	Naxos	
Ermanno Wolf-Ferrari	ヴォルフ・フェラーリ	1876-1942		室内交響曲(1901)	※※	"マドンナの宝石"だけで有名な作曲家。弦5部、木管五重奏、ピアノの編成。4楽章で33分。ピアノの比重が大きいので交響曲っぽくありません。	8.574271	Naxos	

Ildebrando Pizzetti	ピツエッティ	1880–1968	1	交響曲イ調(1940)	★★★★★	4楽章で43分。日本の皇紀2600年記念音楽祭のために委嘱された作品です。旋法風のおだやかな音楽が続きます。4楽章で一時にぎやかになりますが、最後は静かに終わります。委嘱した側には不満足だったでしょう。2600年記念に一番ふさわしいのはイベールの祝典序曲ですね。	8.573613	NAXOS
Gian Francesco Malipiero	マリピエロ	1882–1973	11	海のシンフォニア(1906)	★★★★★	単一楽章で24分。とてもユニークで聴き映えがします。	8.570878	NAXOS
				静寂と死の交響曲(1910)	★★★★★	3つの楽章で32分。変化に富んでいます。	8.223603	Marco Polo
				交響曲第1番 四季のように4つのテンポで(1933)	★★★★★	4つの楽章で23分。同時代のドイツ系の曲とは全く違う音がしていて大変新鮮です。 1楽章 春 パストラーレです。 2楽章 短調の不安な夏 3楽章 豊かな響きがします。 4楽章 祝典のファンファーレ		
				交響曲第2番 悲歌(1936)	★★★★★	4つの楽章で22分。副題はあまり関係なく聞こえます。第2楽章は豊かな響きがします。他の楽章も聞きごたえがあります。		
				交響曲第3番(1944) 副題 “鐘”	★★★★★	第2次大戦でイタリア全土が戦場になっている時期の作品。そのような雰囲気が強く漂っています。全4楽章で24分なので各楽章はそれぞれ短めです。		
				交響曲第4番(1946) 副題 “インメモリアル”	★★★★★	第2次大戦は終わったけれど、まだその爪痕は強く残っているという感じの曲です。全4楽章で25分なので各楽章はそれぞれ短めです。軽いさわやかな曲です。ドイツの交響曲とは異なる交響曲にしようとしているので第4楽章の最後もまったく高揚せずにあっさり終わります。この点は大変物足りないです。	8.570878	NAXOS
Nino Rota	ロータ	1911–1979	3	交響曲第1番(1933)	×	4楽章で32分。映画音楽の世界で有名なあのニーノ・ロータです。本人はクラシックの世界が本業と思っていたようです。甘ったるい曲です。	CD-970	BIS
				交響曲第2番(1941)	×	4楽章で31分。甘ったるい曲です。		

				交響曲第3番(1957)	☆☆☆☆	4楽章で19分。第1, 2番とは相当感じが違い、交響曲らしい雰囲気があります。		CHAN10669	Chandos
Elisabetta Brusa	ブルーザ	1954-	3	ニッテメーロ交響曲(1988)	×	4楽章で29分。作曲された年の割にはオーケストラが良くなる曲ですが、特に印象には残りません。		8.555266	NAXOS
				交響曲第2番(2010)	※※	4楽章で39分。現代曲ではありませんが、特に聞く箇所がありません。		8.574263	NAXOS
Di Vittorio	ディ・ヴィットリオ	1967-	4	シンフォニア第3番 (2011)	☆☆☆☆	単一楽章で13分。作曲年にかかわらず、現代曲ではなく、昔風の作風で聞きやすいです。		8.579033	Naxsos
				シンフォニア第4番 (2019)	☆☆☆☆	3楽章で27分。とても聞きやすい曲です。			